

20 生 物 化 学 II

III 核 酸

8 核酸の分離・精製 (637)

8.1 はじめに (637)

核酸の調製 (637)

核酸調製品の検定 (640) [19II 9]

8.2 DNA (643)

総 論 (643)

原核細胞とファージ (646)

真核細胞 (651)

8-3 RNA (670)

rRNA (670)

動物細胞からのポリソームの調製
(676)

tRNA (681)

mRNA (707)

8-4 ウィルス核酸の分離・精製 (724)

8-5 合成ポリヌクレオチドの調製 (737)

デオキソポリヌクレオチドの合成
(737)

リボポリヌクレオチドの合成 (750)

9 核酸の化学的性質および生物学的性質

(763)

9-1 化学的性質の解析法 (763)

核酸構成成分の組成分析 (766)

化学構造の決定 (783)

9-2 生物学的性質の解析法 (839)

核酸の生物活性の測定 (839)

DNA 合成 (847)

RNA 合成 (876)

タンパク質合成と coding (907)

10 核酸の化学修飾および物理化学的性質

(923)

10-1 化学的修飾 (923)

はじめに (923)

核酸の化学的修飾の条件 (924)

アルキル化 (925)

アクリロニトリルによるシアノエチル
化 (932)プロモニアンによるチオピリミジン残
基の修飾 (934)S-アルキルチオイソチオ尿素によるチ
オピリミジン残基の可逆的修飾
(936)

ハロゲン化 (938)

過酸による核酸および構成成分の N-
オキシド化 (943)

まとめ (945) [4II 7-4-3]

10-2 物理化学的性質の解析法 (945)

円偏光二色性と旋光分散 (945)

[13II 8]

X線解析 (960) [63, 13II 6]

核磁気共鳴 (971) [35, 9II 10, 13I 4]

赤外吸収とラマン効果 (982) [13I 3]

融解曲線 (994)

電子顕微鏡 (1007) [67]

IV 多 糖 [14V 10]

11 多糖の分離・精製 (1021)

11-1 多糖の抽出 (1021)

材料の選択と前処理 (1022)

抽出 (1022)

11-2 多糖の精製・分画 (1024)

夾雑物の除去 (1024)

多糖相互の分離 (1025)

分子量の相違による分画 (1029)

11-3 多糖-タンパク質複合体の分離・精
製 (1030)

はじめに (1030)

一般的注意 (1031)

塩化セシウム密度勾配平衡超遠心法に
よるプロテオグリカンの調製

(1031)

おわりに (1033)

11-4 各多糖の単離例 (1034)

中性多糖 (1034)

酸性多糖 (1051)

11-5 多糖の分析・確認法 (純度検定法)
(1068)

- 組成分析法 (1069)
 電気泳動 (1073) [114・10]
 超遠心分析法 (1076)
- 12 多糖の構造研究 (1081)
- 12・1 化学的研究法 (1081)
- 糖類の呈色反応 (1081) [9Ⅱ8・2]
 多糖の酸加水分解 (1092)
 糖の分離と同定 (1093) [114,
 9Ⅱ3・6]
 多糖の特異的化学反应 (1106)
 加酢分解 (1128)
- 12・2 酵素的免疫学的研究法 (1135)
 グリコンダーゼによる構造研究
 (1135)

- 硫酸化多糖分解酵素による構造研究
 (1143)
 レクチンによる構造研究 (1157)
- 12・3 機器による研究法 (1169)
 核磁気共鳴吸収 (1169) [35,
 9Ⅱ10, 1314]
 ガスクロマトグラフィー, 質量スペク
 トル分析 (1180) [114・4・1, 68,
 9Ⅱ12, 1315]
 赤外吸収 (1199) [1313]
 旋光分析 (1201) [112・4・3]
- 12・4 多糖とタンパク質の結合様式研究法
 (1203)
 O-グリコシド結合 (1204)
 N-グリコシド結合 (1206)